

第24回 議会報告会を開催

平成30年2月3日(土)中央公民館にて、龍谷大学の土山希美枝教授をお招きし、第24回議会報告会「市民と議員の合同研修会」を開催しました。当日は約50名の参加で、第1部の講演会につづき、第2部では土山教授に進行をお願いし、「市民と議会のより良い関係」をテーマに意見交換を行い、次のような意見や質疑・応答がありました。

議会活動の見える化



問 行政や議会がどのようなことをしているか分かりやすく、見える化すべき。また、市民からの相談や市民に対しての連絡、報告活動、町内会等との連携についても充実を図るべき。

答 市民の見ている場面での議論が大事。テーマに対し賛成、反対の立場での議論がし合え、市民から争点が見えることが必要と考える。市民や町内会との連携については、地区別で意見交換会や、議会報告会を実施している市町もあり参考にした。

市民参加と自由討議

問 市民からの意見に対して対応がフィードバックされない現状は問題。さまざまな課題に対して市民と議会が共通認識を持つべき。

答 施策にすぐ反映できないこともあるが、一つひとつの意見を重く受け止めている。報告会での意見や質問に対しては、執行機関に答えを求め、すべてホームページにアップし課題の共有化に努めている。本会議での一般質問、質疑、議案に対する賛否などについても議会だよりに掲載している。より多くの市民に議会を理解してもらえよう、多様な手法で様々な課題に対し、市民との共通認識を深めていく。

問 知立市の抱える課題を明らかにし、議会報告会で自由に討論をすべき。また、議員のレベルアップのための勉強会を開くべきでは。

答 知立市の将来計画等、計画の策定段階から、市民参加により、目的、構想や課題などを市民と議会が共有し、問

報告会の開催目的



問 議会報告会は、報告の場なのか、議論の場なのか開催目的をはっきりすべき。さらに市民の望んでいることは何かを知る必要があるのでは。

答 年間4回のうち報告だけではなく研修などを目的とする場合もある。また併せて意見交換会で政策等について議論している。今後のあり方についての意見をもらいながら運営の充実や継続することが重要と考える。

題提起や討議できればと考える。また、議員の勉強会などが必要であり、今後積極的に開催していく。

知立市議会
だより

ふにろす

知立市議会です。

表紙写真

募集!!

テーマ 季節の風景、まちかどで発見

応募方法 郵便番号、住所、氏名、電話番号、写真の撮影場所、撮影日時、写真の説明(タイトル等)をご記入の上、メールまたは郵送(LLプリント)にて、知立市議会事務局(市議会だより編集委員会)までお送りください。

応募条件 カラー未発表のものに限ります。被写体が人物の場合は、本紙掲載について、本人(未成年の場合は、親権者)の同意が必要です。写真は返却致しません。

締切り 平成30年 8月16日号▶6月30日
平成30年11月 1日号▶9月30日

◆表紙への掲載内容
採用写真、タイトル、応募者氏名、住所(町名まで)

▼送り先
知立市議会事務局(市議会だより編集委員会)
〒472-8666 知立市広見三丁目1番地
電話 95-0137 FAX 83-5565
E-mail : gikai@city.chiryu.lg.jp